

「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする



2025年度 西神吉小だより

加古川市立西神吉小学校

学校通信

No.95

～ 5年 自然学校 ～

10月21日(火)から25日(土)まで、4泊5日の自然学校に5年生が行ってきました。

兵庫県の特徴ある教育活動である自然学校は、「学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、人や自然とふれ合い理解を深めること、長期宿泊体験を通して、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力や生命に対する畏敬の念、共に生きる心を育むなど、‘生きる力’を育成すること」を目的として、30年以上続く行事です。始まった当初は5泊6日で、4泊5日と1日短縮されはしたものの、兵庫県ならではの取組としてずっと続いてきました。

本校も「豊かな自然にふれ、その雄大さ、美しさ、厳しさを体験し、自然を愛する心を育てる」「自然の中で仲間と共に規律を守りながら共同生活をし、思いやりと助け合いの心を育てる」「考えて行動し、最後までやりぬき、豊かな心とたくましい体を育てる」というねらいをもって実施しました。

また、今年度のテーマは、
「みんなで感じる 自然のみりよく ～自然学校2025～」
です。プログラムについては、前半に時折雨が降り、時間変更が多少あったものの、予定していたプログラムをほぼ実施することができました。

【自然学校2025 プログラム】

	10/21 (火)	10/22 (水)	10/23 (木)	10/24 (金)	10/25 (土)
午前	開校式 入所式 オリエンテーリング	お弁当づくり 登山	ドリームプロジェクト アイスづくり	お土産づくり 飯盒炊さん② (焼きそば)	カートンドッグ 片付け・清掃 退所式
午後	施設探検 リーダータイム 箸づくり	リーダータイム 魚つかみ	食材探し 飯盒炊さん① (カレーライス)	スタンツリハーサル 飯盒炊さん③ (すき焼き)	閉校式
夜		もちつき	星空観察	キャンプファイヤー	

これらの活動を通して、子どもたちは、社会生活、集団生活に必要な「時間をきちんと守り、ルールに従って行動することの大切さ」を学びました。そして、仲間とともに達成していくこと、創り上げていくことの喜びを味わいました。驚いたことに、5分前行動が、子どもたちの力で10分前行動へと変わっていったことです。いつも時間前には集合を完了していました。すごいことです。

例えば登山。しんどい登山も、みんなで励まし合って、歩くペースを合わせて、登頂することができました。

例えば野外炊飯。準備や調理、火おこしをして、美味しく食べるところまでは楽しかったはずですが、後片付けは本当にたいへんです。薪の炎で直火に当たった飯盒や鍋、鉄板などは、煤まみれで、簡単にはきれいになりません。それでも、黙々とたわしでこすり続けていた子、汚れた作業台を見つけてきれいに拭いていた子、最後まで流し台の生ごみを取っていた子がいました。宿舎スタッフの厳しいチェックに、何度もやり直しになったとしても、最後までがんばりました。3回も飯盒炊さんをしましたが、回を重ねても、そのがんばりが失われることはありませんでした。

しかしながら、慣れない場所で過ごしたり、家族と離れて過ごしたりする不安や寂しさが少なからずどの子にもあったと思います。5日間もみんなで一緒に寝食を共にしていると、ストレスも生じてきます。そうした不安や寂しさやストレスは、普段の学校でなら許せることでも、つついイラっとしてしまい、友だちにきつくあたりけんかになることも自然学校中にはよくあります。開校式でも、閉校式でも言いましたが、楽しかったことやうれしかったことだけでなく、しんどかったことや悲しかったこともあったと思います。今回の自然学校で経験したすべてが、今後の力になると信じています。

ほとんどの子どもたちにとって、これだけの期間、親元を離れた環境の中で集団生活をおくることは、初めてで貴重な体験になったことと思います。5日間を仲間の励ましやアサヒロッジのスタッフ、教師や補助員、教護員の支えによって乗り越えたことが、これからの生活に大きな自信となってくれることと思います。